

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

## 新潟の飼料用米で飼育した銘柄米豚の開発・ブランド化及び販売

独自品質基準で新潟産飼料用米を出荷2ヶ月前に給餌した銘柄米豚の開発後ブランド化して販路開拓を実施する。

### ➤ 連携体

農林漁業者 南波 昇（養豚業）

独自基準に準じた銘柄米豚を開発するため、中小企業者と連携して配合飼料の開発から自家栽培した飼料用米の給餌時期や割合を試験飼育していき独自基準に沿った銘柄米豚を開発する。

中小企業者 (株)ウオショク (法人番号:9110001001382) (肉加工品製造業)

独自基準に準じた銘柄米豚を養豚業者と連携して開発する。開発された銘柄米豚のブランドストーリーやブランドロゴを活用したブランド構築と首都圏を中心とした量販店への販路開拓を進め、将来を見据えた海外販路開拓を進める。

(公財)新潟市産業振興財団

サポート機関等 (独)中小企業基盤整備機構関東本部

### ➤ 連携の経緯

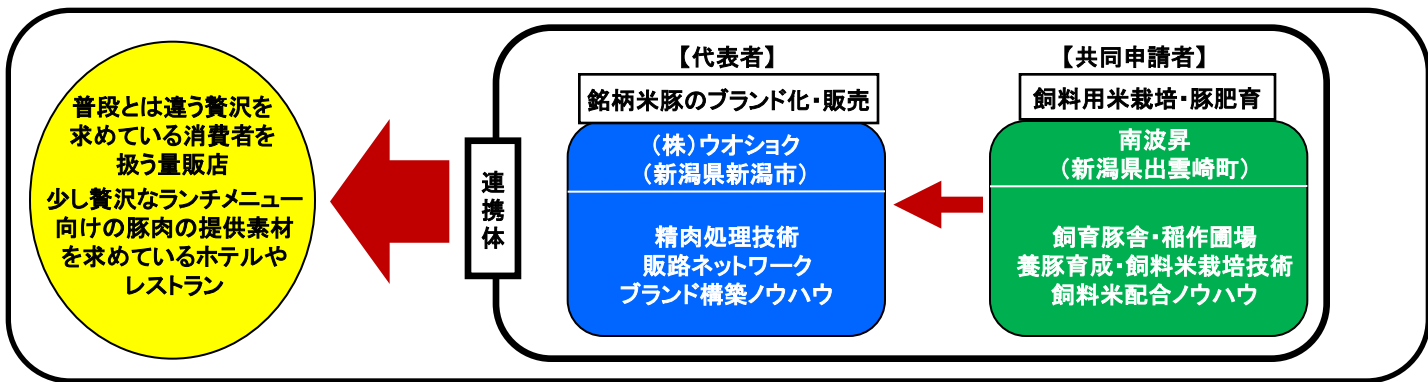
市場が要求する売りやすい価格帯のブランド豚の開発による新たな売上の柱となる商品を模索していた(株)ウオショクと2年前から所得向上を目的に自分で栽培した飼料用米を配合した米豚の試験肥育をしていた南波昇との思惑が合致し、連携に至った。

### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

独自基準を(株)ウオショクと南波昇の協議にて設定して独自基準に適合した銘柄米豚の開発を両者の連携で進める。南波昇は自家栽培の飼料用米の給餌時期・配合割合及び配合飼料の飼育情報を(株)ウオショクと情報共有して銘柄米豚の開発を進める。(株)ウオショクでは年3回の成分分析を実施して品質基準管理を実施する。開発された銘柄米豚は(株)ウオショクで枝肉加工において新たにトリミング加工と真空包装技術を取り入れ、銘柄米豚の特徴を生かした商品を消費者に提供していき、ブランド構築と販路開拓を展開していく。



<銘柄米豚の試作品>



### ➤ 連携による効果

農林漁業者 5年で直近売上対比約830万円の売上高増加、農業所得の増加による経営の安定

育成された銘柄米豚の(株)ウオショクの全量買取による売上増加と飼料用米の活用による経費節減が図られる。

中小企業者 5年で直近売上対比約31,000万円の売上高増加、新たな売上の柱商品の実現

銘柄米豚のブランド構築による販路開拓が進み、既存取引先に加えて海外も含む新規開拓の展開が実現できる。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : (株)ウオショク  
TEL : 025-283-7288

所在地 : 新潟県新潟市中央区鳥屋野450-1  
FAX : 025-283-7218  
ホームページ : <http://www.uoshoku.co.jp/>